

## NGP「環境報告書2004」を発行

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合(以下NGP)は、このほど、環境および社会側面から2003年度の取組み実績をまとめた「環境報告書2004」を発刊しました。

NGPでは、2001年の「循環型社会形成推進基本法」の施行を契機として地球環境保全に尽くし、自動車産業静脈系リサイクル業界において、使用済自動車の適法・適正処理を通して社会に貢献する組合を目指し、2001年10月開催の15周年記念総会において「NGP21世紀宣言」を提唱し、この宣言に基づいた、環境への取組みをグループ運営の最重要課題と位置付けて事業活動を展開しており、2002年に続き、2004年の今年、2度目の「環境報告書」の発行、情報開示を積極的に進めています。

各項目ごとの主な内容は、以下のとおりです。

### <NGP環境経営理念>

- 1, 我々は、使用済み車輛を適正に処理します。
- 2, 我々は、自動車リサイクル部品を全面的に啓蒙します。

### <環境マネジメント>

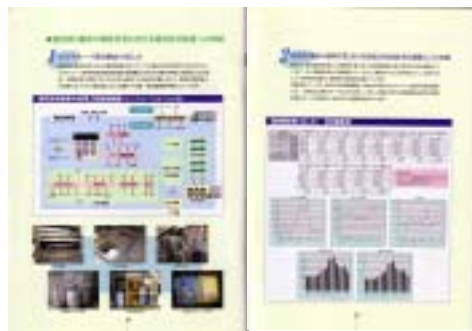
環境保全活動を組合の最重要課題として位置づけその推進体制として環境委員会を組合内に設置し、環境マネジメントシステムの推進体制を構築しています。

### <環境取組の具体的活動内容>

- 1, エコ推進運動の全国統一取組
- 2, NGP組合員の環境ISO14001認証取得への積極的チャレンジ

### <自動車リサイクル法に向けた取組>

- 1, 使用済み自動車の解体作業に於ける環境負荷低減  
(フロンガス処理、廃オイル処理、廃LLC処理、廃車処理台数、廃車ガラ回収量の数値化)
- 2, 自動車リサイクル部品の普及促進  
(リサイクル部品啓蒙ツールの作成、自動車リサイクル法説明会の開催など)



以上

～ 詳細については NGP総務委員会 広報担当 まで ～